

ALS 患者さんの NPPV 導入期における iVAPS+AE の使用経験

1. 研究対象

当院で筋萎縮性側索硬化症 (ALS) により非侵襲的陽圧換気 (NPPV) 導入となった患者さん

2. 研究目的・方法

一般社団法人 日本神経内科学会の「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 診療ガイドライン 2023」では、ALS 患者さんの肺活量低下に伴い早期 NPPV の導入や、その設定方法について記されており、容量保証圧制御換気 (iVAPS) や、上気道狭窄を伴う換気不全の対処として呼気圧自動調節機能 (Auto EPAP) が提案されています。当院では医師の指示の下、NPPV 導入患者さんの対応を臨床工学技士が行い、NPPV の設定や操作、マスクフィッティング、患者さんおよびご家族への指導をし、関係職種と連携しながら在宅管理に移行しています。最新のガイドラインに沿った呼吸療法を実践することで、NPPV 機器装着時における呼吸状態の変化や機器の作動状況に問題がないか解析ソフトを用いて評価します。

研究期間：倫理申請許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる情報の種類

デザイン：観察研究（症例対照研究）

診療録より年齢、身長、血液検査（血液ガス分析）など NPPV を行うために必要な情報、及び NPPV 機器の内部データより、下記観察項目の数値・波形情報を抽出し解析します。

※データの抽出期間は NPPV 導入から 6 ヶ月間まで

観察項目：

NPPV 使用時間、呼吸回数（自発呼吸率）、一回換気量、吸気圧 (IPAP) ・呼気圧 (EPAP) サポート圧 (PS)、無呼吸・低呼吸指数 (AHI)、動脈血酸素飽和度 (SpO₂)

外部への情報提供：

研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、研究対象者皆さんの個人情報が入外に漏れることが無いよう十分に配慮します。

4. 研究組織

長野市民病院 診療技術部 臨床工学科
(研究代表者：臨床工学科 科長 丸山卓也)

5. 問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

長野市民病院 ME センター

電話：026-295-1199（代表） ME センター（内線：3174）

氏名：丸山卓也（診療技術部 臨床工学科 科長）

また、本研究の対象となる方またその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も上記へご連絡をお願いいたします。

尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益をうけることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。